

LIFE のカリキュラムデザイン

学 年	中学校3年
テーマ	自己の生きる地域と世界について学ぶ - 地域からの世界理解，世界からの地域理解をめざして -
キーワード	地域 世界 グローバルな視点 ローカルな視点 生活者
概 要	<p>生徒がいま生き，これから生きていこうとしている“場”としての「地域」や「世界」について，ローカルな視点とグローバルな視点から学習し，その形成・発展を担う主体としての生徒の成長をめざす。</p> <p>学習内容は大きく「テーマ学習」と「テーマ研究」に分かれ，前者では，ある特定「地域」を取り上げて「世界」の問題について考え，後者では，「世界」の問題から生徒がいま生きている「地域」を見つめる。</p>

1. 学習の目標・ねらい

「LIFE」のねらいは，「地域」や「世界」におけるよき「生活者」としての生徒の成長を保障することにある。よき「生活者」とは，「自ら学び，自ら考えながら，よりよい社会生活を送る(送ろうとする)」人間のひとつの理想型である。こうした人間像を求めて，「LIFE」では，「地域」を出発点に「世界」の問題を考えたり，逆に「世界」の問題から「地域」を見つめ直したりすることによって，自己が生活する「地域」や「世界」についての理解を深め，その形成や発展を担うべき主体としての自覚とよりよく生きようとする態度を育てることをめざす。

このようなねらいを達成するため，「LIFE」は「テーマ学習」と「テーマ研究」で構成する。「テーマ学習」では，教師の支援を受けながら，教師が選定した「地域」についてさまざまな角度から調査したり，自ら発見したその「地域」に関するテーマを追求したりすることによって，ローカルな視点から「世界」の問題(概念)を考える。

また，「テーマ研究」では，教師が設定した「世界」の問題(概念)群の中から，自己の興味や関心に基づいて問題(概念)を選択して具体的なテーマを設定し，教師の支援の下にそのテーマを自己の生活する「地域」に追究することによって，グローバルな視点から自己の生活している「地域」を見つめ直す。

以上のことを，方法・内容・態度の観点から目標としてまとめると，次のようになる。

第3章 LIFE のカリキュラムの実際

「地域」や「世界」の問題に関する情報を収集・整理し、分析・吟味する能力を育て、自らそれらの問題の解決や探究ができるようにする。

「地域」や「世界」の問題に関するものの見方・考え方を習得し、それらを使ってそれらの問題を説明できるようにする。

「地域」や「世界」の問題に関心を持ち、それらの問題の解決や探求の活動に主体的に創造的に取り組む態度を育て、それらの形成や発展を担う主体としての自覚を深める。

2. 育まれる能力

「L I F E」の3つの目標に対応して、次のような能力が育まれる。

- (1) 「地域」や「世界」の問題に関する情報を収集・整理し、分析・吟味する能力
- (2) 「地域」や「世界」の問題に関する情報をまとめ・説明し、表現・伝達する能力
- (3) 「地域」や「世界」の問題に関するテーマを、真理性や正当性に基づいて意欲的に探究する能力

3. 評価の観点

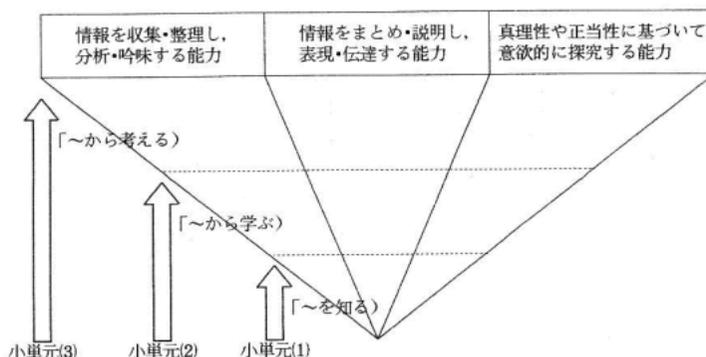
「L I F E」の3つの目標と3つの育まれる能力に対応して、次の観点から評価する。

- (1) 《思考・技能》情報を収集・整理し、分析・吟味できたか。
- (2) 《知識・表現》情報をまとめ説明し、表現・伝達することができたか。
- (3) 《関心・態度》意欲をもって創造的な探究に取り組み、関心を深めることができたか。

4. 評価の方法

- (1) 毎時間の教師による観察（教師による評価）
- (2) 「情報整理票」のチェック（教師による評価）
- (3) 「研究レポート」とその研究発表の評価（教師・生徒同士による評価）

《大単元の学習プロセスと育まれる能力の関係》



第3章 LIFE のカリキュラムの実際

6. 年間指導計画 (70時間扱い)

月	単元名	学習のテーマ・ねらい	学習の具体的な内容
4	0.はじめに	「LIFE」の説明	「LIFE」のねらいと学習内容、年間計計画、取り上げる地域等の説明と確認。
5	1.「長崎」から学び、考える (1)「長崎」を知る	単元1の説明 講義「長崎の地理と歴史」 長崎の歴史的・地理的な個性に気づく。 まとめと「テーマ領域」の選択 長崎を学習する意味に気づく。	資料集とワークシートを利用し長崎の地理と歴史について学習。 テーマ領域を提示し、それについて気づいたことをまとめさせ、自分の関心を焦点化してテーマ領域を選択させる。 テーマ領域の事例：文学、平和、くらしと食文化、歴史、人物、産業 など
6	(2)「長崎」から学ぶ	研究の準備 グループ分けとテーマ領域の選択 研究計画の立案と仕事の分担 研究(グループ毎に調べる)	6～7名のグループに分かれ、情報収集の方法、各自の役割などを確認し、研究計画書を作成する。 計画に基づき文献やインターネットなどで調べ、その内容を情報整理票に整理し、吟味・分析する。
7		研究成果を練り上げる	情報整理票をもとにプロットを作成し、研究成果を練り上げる。
8	(3)「長崎」から考える	研究のまとめ 研究報告会 フィールドワークの準備 フィールドワーク	『長崎案内記』を作成。 クラス毎に研究報告会を行い、評価表に基づいて互いに評価。 『案内記』をもとに長崎フィールドワーク目的地を選定し、その計画を立てる。 社会見学旅行でフィールドワークを行い、研究成果を確かめる。
9	2.「沖縄」から学び、考える (1)「沖縄」を知る	単元2の説明 講義「沖縄の地理と歴史」 日本列島社会の多様性に気づく まとめと「テーマ領域」の選択 沖縄を学習する意味に気づく。	資料集とワークシートを利用し沖縄の地理と歴史について学習。 テーマ領域を提示し説明する。 テーマ領域の事例：自然 歴史 産業 くらし 平和 伝統と文化など
10	(2)「沖縄」から学ぶ	研究の準備 グループ分けとテーマ領域の	6～7名のグループに分かれ、情報収集の方法、各自の役割など

第3章 LIFE のカリキュラムの実際

<p>1 1</p> <p>1 2</p>	<p>(3)「沖縄」から考える</p>	<p>選択 研究計画の立案と仕事の分担 研究(グループ毎に調べる) 研究成果を練り上げる 研究のまとめ 研究発表会 「世界」の問題(概念)群から「沖縄」を説明する。</p>	<p>を確認し,研究計画書を作成する。 計画に基づき文献やインターネットなどで調べ,その内容を情報整理票に整理し,吟味・分析する。 情報整理票をもとにプロットを作成し,研究を練り上げる。 『沖縄研究レポート』を作成。 各クラスで研究発表会を行い,評価表に基づいて,互いに評価。</p>
<p>1</p> <p>2</p>	<p>3.「世界」から学び,考える (1)「世界」を知る</p> <p>(2)「地域」を知る</p>	<p>単元3の説明 「現代世界の諸問題」について具体的に調べる。 「現代世界の諸問題」の概念化</p> <p>備後地方の地理と歴史 テーマの発見</p>	<p>発生場所,経過,原因,問題点,解決法などを『調査票』にまとめさせる。 諸問題を分類(開発,人権,平和,環境,資源など)に分類し,その本質を概念化して説明する。 世界概念の事例:「文化」「共生」「変化」「希少性」「対立」「公正」など 地図とワークシートを利用した作業学習 テーマ設定のため,具体的なテーマ領域を提示する。 テーマ領域の事例:自然 文学 歴史 産業 環境 暮らし など テーマ領域に関係する地域の情報を収集し,テーマとテーマ領域を各自決める。</p>
<p>3</p>	<p>(4)「地域」から学び,考える</p> <p>(4)まとめ</p>	<p>研究の準備 研究(各自で調べる)</p> <p>研究のまとめ</p> <p>『修了論文集』の作成</p>	<p>研究計画書を作成する。 計画に基づき文献やインターネット,地域の博物館や資料館,市民センターなどで情報を収集する。 身近な地域の諸問題と世界概念との関係を考える。 領域別に研究発表会を行い,評価表に基き,互いに評価し合う。 各クラスごとに『修了論文集』を作成し,評価し合う。</p>